

8月から県内4地区、家庭訪問支援事業スタート

「先輩ママ」養成中です



訪問支援活動の流れをイメージするため、スタッフと受講者が寸劇を行った

基本的には6歳以下の子ど
もがいる家庭を先輩ママが
週1回のペースで2時間程
度訪問、話し相手になっ
たり、一緒に外出する。
県の委託を受け、訪問を
コーディネートする県内4
団体のうち、村山地区を担
当する山形市の「NPO法
人やまがた育児サークルラ
ンド」の養成講座には、山
形市や寒河江市から20、60
代の12人が参加。7月5、
26日の日程で研修を受けて
いる。

このうち初回の講座では
「このうち初回の講座では
食なら一緒に作ることで母
親も覚える。先輩ママには
『母親の力』を育てる役割
もある」と語った。

この日の講座の締めくく
りに、3カ月の長女と、赤
ちゃん帰りの2歳の長男
がいる家庭を想定し、実際
に訪問する過程を参加者と
スタッフが一緒になって寸
劇で表現した。まずは先輩
ママにアドバイスするオー
ガナイザーが、利用家庭の
状況やニーズを把握し、そ
の家庭にふさわしい先輩マ
マをマッチング。初回の家

ママの不安和らげたい

この事業はイギリス発祥
の「ホームスタート」がモ
デル。日本ではNPO法人
「ホームスタート・ジャパ
ン」(東京)が普及活動を
展開している。子どもの数
が多かったり、転居したば
かりで自宅にこもりがちに
なり、子育てサロンなど従
来の子育て支援が受けにく
い母親を支えるのが狙い。

ホームスタート・ジャパ
ンの山田幸恵理事が講師を担
当。世界22カ国に広がるホ
ームスタートの活動の意義
や役割について説明した。
無償で利用できるのが特徴
の一つで「経済的に余裕が
ない家庭や、収入のない専
業主婦も気軽に活用でき
る」と解説。さらに「寄
り添うことが大切」「離乳

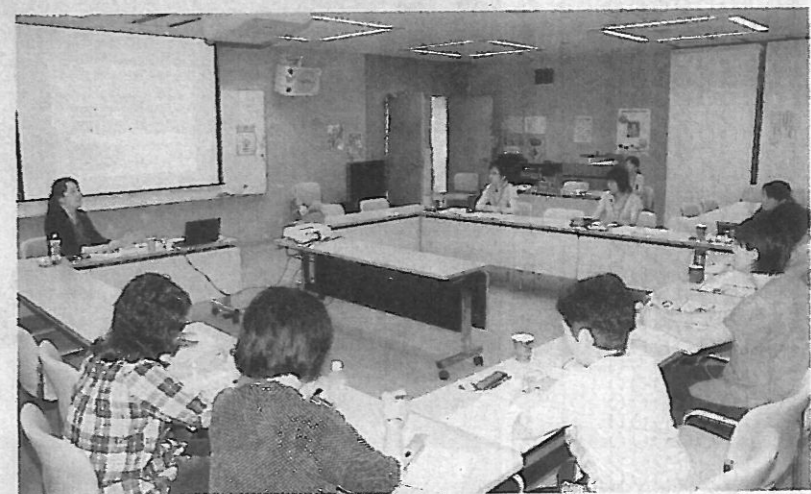
専門的な研修を受けた先輩ママが子育て家庭
を訪問する県の「先輩ママの家庭訪問支援モ
デル事業」の活動が8月から県内4地区で順次ス
タートする。計8回にわたる先輩ママ養成講座
が各地区で進められており、受講者たちは「こ
れまでの子育て経験を生かしたい」「少しでも
母親たちの不安を解消したい」と研修に励んで
いる。

経験生かし

庭訪問はオーガナイザー、
先輩ママの2人で行い、話
し合って「母親が長男と遊
ぶ時間をつくるため、先輩
ママは赤ちゃんの面倒を見
ると決めた」という内容。
受講者の八田幸子さん
(59)山形市小川町4丁
目、主婦は「子どもと孫
の子育て経験を生かして母
親たちの不安や心配を少し
でも和らげたい」と意気込
む。同じく受講者の杉山綾
子さん(28)同市双月町、
主婦は「現在、2歳の長女
の子育て真っ最中。『自分
も親や先輩に話を聞いても
らって子育てしている。同
3494。」

養成講座は8月上旬まで
に4地区で終了し、順次訪
問支援をスタートする。利
用に関する問い合わせは各
団体。やまがた育児サーク
ルランド023(673)
9336、新庄市のNPO
法人はぐみ保育園023
3(22)1276、酒田
市のNPO法人にこっと
234(23)6330、
米沢市のNPO法人スマイ
ルハウス0238(21)

同じ目線で対応



「ホームスタート」の意義や役割について、山田幸恵理事を講師に迎え理解を深めた受講者たち

編集後記

「おぎゃー、おぎゃー」「マ
マ、この人誰、誰!」。生後
3カ月の長女と、赤ちゃん帰
りした2歳の長男を持つ子育
て家庭の寸劇の場面。オーガ
ナイザーや先輩ママとの打ち
合わせもままならない母親の
姿に、複数の子どもを一緒に
育てる大変さをあらためて感
じた。

猫の手も借りたいほど忙し
い母親たちでも、やはり訪問
支援を利用する上ではさまざ

まな抵抗を感じる人もいるか
もしれない。そんな人に講座
で紹介された利用家庭の感想
の一部を紹介したい。「ああ
したらこうしたらみたいな押
し付けでもなく、根掘り葉掘
り聞くのでもなく、義務的
でもなく、なれなれしくもなく、
心地よい距離感で安心して話
をすることができた」。

「傾聴ボランティア」「友
達のような関係」。先輩ママ
の養成講座でたびたび出てく
る言葉だ。まずは「自宅に知
人や友人を招き入れる」。そ
んな気分で利用してみても
うだろうか。(K・C)

ご意見、ご感想は山形新聞
報道部子育て係 ファクス
023(641)3106、メールkos
odate@yamagata-np.j
p。〒990-8550、山形市
旅籠町2の5の12。

【山形】ママと一緒に
お茶会体験は31日(日)午前10
時~正午、市総合福祉セン
ター1階和室。抹茶を味わ
い、お点前を体験する。対象
は親子で、参加費は子ども
が0~2歳なら600円、3
歳以上は1100円。28日まで
に申し込む。後藤さん090
(6253)3845。

★「たんじょうびって すてきなひ」
(作・あいほろゆき
絵・かわかみかこ)

ある村にヘレンちゃんという女の子がい
ました。ヘレンちゃんは朝、道で人に会っ
てもあいさつをしません。友達が「いっし
よに遊ぼう」と言っても仲間に入りません。
ピクニックでも一人だけご飯を食べませ
ん。へそ曲がりさんなのです。
きょうはヘレンちゃんの誕生日です。で



も、そんなへそ曲がりさんにはお祝いし
てくれる友達がいまいません。だから、ヘレ
ンちゃんは自分でお祝いすることにしました。
自分でプレゼントを作って、(紙にえが
いた)ケーキも作って、自分で誕生日の歌
を歌いましたが、ちっともうれしくありま
せん。

ヘレンちゃんが「誕生日って悲しい日
」と思ったその時…。愛される幸福感を優
いタッチでえがいた作品です。
(佼成出版社・1365円・3歳から)

山形わいわい子育て

次回8月2日から火曜日に掲載します